谷川岳 雪上訓練

報告者：T.Y
期　日：2015（H27）年６月７日
メンバー：リーダー(I),他 13 名
〈コースタイム〉
白毛門登山口テント場６時頃－二ノ沢にて雪上訓練８：50 頃～10：45－一ノ倉沢出合 11：20 頃

谷川雪上訓練としては多くの人が参加した。訓練内容は、S さん、I さんを講師としてまずキック・ステップの直登、直下降、斜めの登り降り、トラバースの歩行訓練後に滑落停止訓練をする。その後、アイゼンを着用しての直登、直下降、斜めの登り降り、トラーバス、滑落停止訓練をする。最後に肩がらみの確保を訓練して終了とした。また、二ノ沢まで斉 S さん、O さん、W さんが登ってきました。

報告者：E.K

今回初めて会の山行に参加させて頂きました。失礼ながら先輩方のお名前もまだ覚えきれず、大変お世話になったにも関わらず、大変アバウトな報告になります事をお詫び申し上げます。

6月６日夜,K さんの車に同乗させて頂き、先発隊のキャンプ地を目指す。同乗者は I さん、I さん。K さんのユーモアのあるトークであっという間に到着する。

時刻は０時ちょっと前。キャンプ地に着くと既に多くの“寝息”が聞こえてくる。テント前には、盛り上がっていたであろう宴の残骸が山積みになっている。寝れる場所ねぇじゃねいか、I さん達３人は土合の駅に向かう。私はシュラフをお借りし、女子テントへ潜らせて頂く。０時半を過ぎた頃、男性２名の足跡と話し声がテント前を通りすぎる。ほどなくして、遠くから救急車の音が聞こえてくる。良からぬ妄想を繰り広げ､結局ほぼ一睡も出来ず朝を迎える。

ぐったりとテントから這い出すと、先輩方がうどんを煮てくれている。美味しいうどんを頂き、体が温まる。出発のお声がかかり、先ずは一ノ倉沢に向けて歩き出す。

初めての一ノ倉沢､雪上訓練に緊張する。雪渓の手前で準備をする。と先輩方がノーアイゼンで登り始める。私もですか！？私もである。緊張しながらついて行くが、キックステップがうまくいかない。スプーンカットかつ藪つきの雪だが滑り、なかなか進まない。

やっとの思いで先輩方のもとへたどり着いた頃には、先輩方が雪を切り、雪上訓練の準備をしてくれていた。この急斜面でですか！？結構な斜度に、自信が持てない。

初めにノーアイゼンでの登り、下り、トラバース。かなり怖い。が、先輩方のアドバイスのもと、数をこなすうちに少しずつ慣れてくる。次は滑落停止訓練。もうやる前から恐怖である。これは結局仰向けに滑りだす勇気もなければ、上手く止まる事も

出来ず､次回への課題となってしまった。

最後にアイゼンを装着しての歩行訓練、滑落停止、ピッケルとザイルを使用しての停止体験。先輩方のアドバイスはどれも大変勉強になり、私も訓練と実践を重ね、熟達していけたらと思います。

下山時、女性はアイゼン使用を許され、安心して下る。それにしても、空の青いこと青い事。新緑の山々と雪渓に、青い空がまぶしいくらいである。

雪渓を下りきり、道路脇から川へと降りる先輩方についていく。川を渡るとそこには慰霊碑が。ここにいらっしゃる先輩方のお話を聞き、手を合わせる。また来年お花を手向けにきますね。そう誓い後にする。

キャンプ地に戻ると先輩方がおでんやビール、沢山の美味しい手料理を用意して下さっていました。その料理の美味しい事、美味しいこと。

お世話になりっぱなしでしたが、今回は沢山ご指導頂き､ありがとうございました。